

令和6年度自己評価の結果について

社 会 福 祉 法 人 秀 峰 会
つくし保育園 上大岡

1. 自己評価の集計結果

つくし保育園上大岡における自己評価の結果をご報告致します。
今後の保育の質の向上に努めて参ります。

分野		回答	イ よく出来ている	ロ ほぼ出来ている	ハ 努力が必要	ニ 私の業務外 または未経験	計
1.	保育の理念・保育観		55.7%	35.7%	7.9%	0.7%	100.0%
2.	保育の内容						
	1)保育計画・指導計画		25.0%	33.8%	10.4%	30.8%	100.0%
	2)乳児保育		28.7%	21.0%	1.0%	49.3%	100.0%
	3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)		36.0%	58.3%	4.0%	1.7%	100.0%
	4) 3歳以上児保育		38.0%	47.0%	5.0%	10.0%	100.0%
	5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども (障がい児)の保育		22.5%	43.3%	10.8%	23.3%	100.0%
	6)行事		23.5%	48.0%	7.5%	21.0%	100.0%
7)延長保育		19.0%	46.0%	8.0%	27.0%	100.0%	
3.	保健活動・安全管理		33.2%	46.4%	14.6%	5.7%	100.0%
4.	保護者・地域社会・関係機関との連携		23.2%	37.9%	13.5%	25.3%	100.0%
5.	地域の子育て支援		14.3%	48.6%	22.1%	15.0%	100.0%
6.	保育園の職務・役割分担		29.4%	47.2%	12.2%	11.1%	100.0%
7.	保育士としての資質向上 (研修・研究活動)		20.8%	45.0%	24.2%	10.0%	100.0%

2. 令和6年度の振り返り

- ・子育て支援の一環として、交流保育や園庭開放など、積極的に取り組むことが出来た。次年度は回数を増やし内容を検討する等、今年度よりも多くの地域の方に来園してもらい、開かれた保育作りを行っていく。
- ・職員も定着し通常の保育や行事等はスムーズに進められているが、新たな取り組みに挑戦しようとする事に消極的になっている部分もあるので、一人一人が今の保育にプラスできるような取り組みを取り入れていきたい。
- ・園全体での各職務の分担に曖昧な部分もあったので、今一度職務ごと業務を明確化し共有をしっかりと行っていき事で与えられた仕事を遂行していく。

3. 令和7年度の目標

- ・支援や配慮を必要とする子どもの保育について、担任だけではなく園全体で知識や情報を共有し、関係機関と連携することで健やかな成長に繋げていく。
- ・地域の子育て支援に保育園としてさらに力を入れ、地域に根付いた開かれた保育園づくりを行う
- ・法人内や外部の研修等に積極的に参加し、一人ひとりの保育士のスキルアップを図るとともに、園全体の質の向上に繋げていく